



# 地域医療通信

①

西脇市多可郡医師会 地域医療検討会発行



## 三木・小野市民病院が統合！

毎日のように「医療崩壊」がマスコミによって報道されています。夕張市民・銚子市立・市立舞鶴・市立阪南・佐野市民などの各病院とあげればきりがありません。では兵庫県ではどうでしょうか？！神戸大学の関連病院で医師不足で存続が危ぶまれている病院が3つあります。高砂市民病院・三木市民病院、そして県立柏原病院です。その三木市民病院が小野市民病院の統合にとうとう合意をしました。（11月5日付け報道）三木市民は巨額の赤字から「病院が遠くなくても医療を残す道」を苦渋の内に選択を余儀なくされたのです。

## 私たち(医療者・市民)は、今、何をすべきか！

「医療崩壊」原因は多様です。基本は、長きにわたって行われてきた「低医療費政策」による「医師不足」であります。日本の医療は、「高度な安全要求」と相反する「医療費抑制」という2つの強い圧力にさらされてきました。この2つの明らかに相矛盾する圧力により労働環境が悪化し、医師が病院から離れ始めました。そこに追い打ちをかけたのが「新臨床研修制度」です。若い医師が大学病院から実践的で優秀な民間病院へと移っていったのです。医師不足は、後10年は改善しません。

市立西脇病院は、昨年度6億以上の赤字を出したと言われていています。すでに完成している小児科病棟には、小児科医不足のため入院ができません！また総合病院の基本である内科の医師不足も深刻です。

## 正しい情報認識をして行動しましょう！

「地域医療を支える」と言うことは「地域を支える」と言うことです。医師会の地域医療検討会は、正しい情報を発信し、市民・医療者・行政・マスコミとともに、考え行動しています。7月の西脇区会館での講演に引き続き、11月12日比延地区講演会を254人!!の住民の参加の下大成功を収めました（写真）。関心の高さに感動しました。地域住民が本気で医療を考える地域だけが医療を継続できると考えます。地域医療の崩壊は、地域の崩壊なのですから、一緒に考え、できることから始めましょう。



「日野地区講演会」サンパル日野会館 12月3日（水曜）7時半からです。

次回の「地域医療検討会」は、12月10日（水曜）7時半から西脇区会館（コミセン）です。参加をお待ちしております。お尋ねは、西脇市多可郡医師会 <Tel 0795-23-3402> メール会員の登録はこちらへ：[tomihara@tomihara.com](mailto:tomihara@tomihara.com)

検討会などの案内・連絡・情報提供を行っています。